

4月 (定例)・臨時 教育委員会会議録

日 時	平成28年 4月19日(火) 午前10時から
場 所	山梨市役所 3階 応接室
出席委員名	市川今朝則・廣瀬孝子・坂本公仁・木藤勇興・幡野勝彦
出 席 事務局員名	小川鉄男、高原歳徳、倉田憲一
委員会書記	小林徹

議題及び議事の概要

○議事

(1) 平成28年度「山梨市教育運営指標」「山梨市学校教育指導重点」について
 市川教育長) 学校現場には既に配布されている。昨年度と比較して、大きな5本の柱というのは変わっていないがその細目については17から13に絞られてきており、より重点項目が明確化されている。過日行われた校長会の中で特に3点お願いをした。①指導重点は県・市・学校それぞれにあるわけだが、項目を羅列するだけでなく、具体的な行動目標を立ててほしいとお願いした。学校として何に重点を置くのか明確にし、それを職員はもとより、児童・保護者も含め共有してほしい。②確かな学力の育成に力を入れたい。学校に期待する内容でも学力向上は最たるもの。既に山梨市では学力向上推進委員会や英語教育推進委員会等長年にわたり取り組んでいるが、学力向上への取組に終わりはなく、1つの目標まで達成したら次はその上を目指すよう、特に力を入れてほしい。市長からも、課長会の話の中で、学力の向上については力を入れてほしいとのこと。3年以内に山梨市が県下1になれるよう期待したいとのこと。私としても学力向上には特に力を入れていきたいと校長会で話した。方策については、授業についてこられない子どもに対する指導はもちろん、学力の高い子どもをさらにステップアップをするにはどうしたらいいかとの視点も必要ではないか。③校長先生から全校集会等様々な機会を通して、子どもたちに命の尊さ、人としての基本、他を思いやる心、いわゆる人間としての基本を伝えてほしい。このようなことを、指導重点と併せて過日の校長会でお話しさせていただいた。

教育というのは、結果が目に見えて出にくいのは承知しているが、何年か後に子供たちに成果がでることを信じて行っていきたい。

木藤委員) 確かな学力、人としての基本を要請していただいたことは良いことだと思う。学力についてはパイロットスクール等行っても数値として出にくい。他の子どもの指導をおろそかにするのではない限り、学力の高い子どもの伸長について校長会で話していただいたことは、うれしいことであると思う。具体的な話であり良かったと思う。

市川教育長) なぜ、学力の結果が出ないか、環境が山梨と似ている他県と比較し、例え

ば家庭内学習が足りないのか等学力向上推進委員会でも原因と対策について研究していただきたいとお願いした。

廣瀬職務代理) 確かな学力については、2020年大学入試制度が変わるとのことである。詰込み式で〇×式ではなく、記述式になる等想定されるが、例えばアクティブラーニング等今から進めないと間に合わないのかと思う。

市川教育長) 学習指導要領においてもアクティブラーニングは重要なポイントとなると思われる。すべての項目に一度に対応するのは難しいと思うので、先生方と一緒に考えていきたい。

幡野委員) 皆さんと同じ考え。重点項目を絞るのも必要。学力向上に対しては以前から様々な対策がなされてきているが、なかなか目に見えた効果は難しい。大学入試制度改革は公立小中学校の教育に大きな影響がでてくると思われ、この問題は中心に据えて今後の学力向上に対する指導を考えていく必要があると思う。現状、指導内容の研究に取り組みられるような体制や時間的余裕等何が足りないか、教育委員会でも把握し、体制を作ることも必要か。時間的な余裕がないのであれば、どうしてなのか、改善していくにはどうしていくべきなのかを考えていかなければいけない。公立学校であるので、すべての子どもに一定の教育水準を確保していくことは基本であるが、市内から私立学校へどの程度の人数が行っているかを知りたい。お金をかけずとも、公立学校で充分学校教育が受けられることで、地域としても安心できる公立学校を維持していくことも大切と思う。

市川教育長) 私立学校へ行っている子どもの人数は、次回の教育委員会で示してほしい。

坂本委員) 3つの重点目標は良いと思った。確かな学力の確保に特に重点を置くとのことであるが、その実効性や結果についても充分検証をした方が良いと思う。本日行われている学力テストの結果にも期待するところではあるが、実力はついてきているのかなとも感じる。学力育成は重点的に行ってほしい。

倉田指導主事) 細かい取組についてはまた後ほどお話ししたいが、水曜日の6校時に特設の時間を設けて補習・発展学習を行う等、現場としても頑張っているのご支援をお願いしたい。

木藤委員) 先生方が忙しいのが現実だと思う。先生方は新しい機構を作るのは上手と思うが、増やすのは上手かと思うが、これを切る(なくす)のは下手かと思う。先生方は、時間を作るために、無駄なことは何もないとは思いますが、何かを削いで時間を積極的に作り、対生徒との時間が増えることで、人間としての基本を説くこともできる。生徒と向き合う時間は大切。時間を確保するための話し合い、研究が現場ではあまりないのではないか。直接学力を伸ばすことに関係するかは分からないが大事なことだと思う。

廣瀬職務代理) 学校は、楽しいということがなければ、学力がついてくることもないかと思う。昔は休憩時間に先生と話すことが楽しかった。学校に行くのが楽しいということが基本で、学力向上につながっていくのではないかと思う。

幡野委員) これからの新しい教育を考えていく中で、話し合い・発表の場面が出てくると思うが、子どもたちが自ら学ぶ場として必要なもの、また、教師が必要な設備等を教育委員会としても支援していければと思う。市としても学校教育予算の確保を。

坂本委員) 文科省の事業も単年度ではなく、最低3年継続しないと意味がないのでは。

小川課長) 電子黒板等、ICT関係の補助金が少ない。補助率も低い。

(2) 山梨市の教育の課題・重点について

廣瀬職務代理) 事務局から一括説明をお願いしたい。

倉田指導主事) (平成28年度山梨市教育委員会の特徴的な取組みについて資料に基づき説明)

小川課長) エアコンの設置について、八幡小学校以南の学校について国の補助事業により実施。連休中に準備工、9月末に完成予定。土日に工事ができれば夏休み明けには使用できるかもしれない。方式はGHP(ガスヒートポンプ)。岩手小学校は設計から着手。半年遅れとなり、国の採択はまだ受けていない。

給食施設の建設について、用地は正徳寺から万力3区にまたがる旧果樹試験場跡地、約7,000㎡で事業費は約17億円。今年度は用地取得と基本設計・実施設計。来年度、再来年度にかけて建設、平成30年9月を目途として稼働開始を予定している。

笛川小学校の大規模改修事業は平成27年度の国の補正予算を確保している、明許繰越事業。補助率5.5/10。6月初旬に契約、10月末に完成させたい。

中村課長) 市民会館耐震・市立図書館工事について、進捗率は3月末で概ね35%。5月いっぱい外壁等の工事が終わり、その後内装工事のみとなり8月いっぱいの完成の見込。オープンは市民会館は11月15日の市制祭、図書館については11月3日を予定。市民会館の利用料は3月定例議会で可決された。新たに設置した会議室については新たな料金設定となった。利用される方に過度な負担とならないよう、面積や利用方法を基準に料金設定をした。会議室の呼称はすべて数字で統一した。

公民館の耐震改修工事について、平成25年度から順次行っており、平成28年度は昨年度設計した日川公民館の工事、新たに加納岩公民館の耐震改修設計を行う予定。

日川公民館は、6月の中旬から11月中旬の予定で使用できないが、他の公民館施設や公共施設を利用していただくことになると思う。駐車場の整備も併せて行う。

また、生涯学習課では市民総合体育館のアリーナの改修、B&Gの大規模修繕を予定しており、B&G財団、日本スポーツ振興センターの助成金を使用する。

坂本委員) 体育館改修費と補助率は。

中村課長) 事業費で1億5千万以上になる見込み。2/3の補助率で、補助金ベースで限度額最大の1億円の補助を予定。B&Gは約60%の補助。おおよそ3千万の事業費を予定しているので、1千7百万強の補助金を見込んでいる。

坂本委員) アリーナのエアコンは難しいか

中村課長) 全面改修のうえ、天井も高いので(難しい)。

幡野委員) 学力向上フォローアップについて継続してほしい。学力向上には、学ぶ場や家庭環境等諸条件が関わってくると思うが、家庭での貧困もあるかと思うが学力の保障はしていきたい。親が小学生の子どもに塾に行ったらどうか聞いたところ、家庭の経済状況が分かっていると行かないと、本心とは違う回答をするという話も聞く。

フォローアップの継続は大切であるが、前年度は中学生が部活で土曜日には参加できないことがあった。しかし、日曜日は公民館が開いていない。曜日の検討と場所の確保を。

倉田指導主事) 7月以降の開催となると思うが、検討させていただく。

木藤委員) 1年中部活を行うものか

幡野委員) 部活の土日の活動状況は

倉田指導主事) 年間の日数については計画を立てて、多くなると県からの指導も入る。

木藤委員) 最低限の学力を保障するならばそれなりの体制を組んであげなければ。

市川教育長) フォローアップ事業を午前でも午後でも対応できればよいのだが、経費的にもむずかしいか。

廣瀬職務代理) 塾に行っている人の割合はどのくらいでしょうか。

市川教育長) 塾に行っている人の割合は、把握しておきたいので機会をみて調査してもらいたい。

廣瀬職務代理) 学力向上は、特に親とすれば、塾に行けば学力が向上すると思いがちだが、本人のやる気次第と思う。

坂本委員) 学校に行っていれば充分との状況であればと良いと思う。

廣瀬職務代理) スマホを持っている子どもも多いと思うがルールを決めても、親も守らせるのは大変だと思う。学力に対して影響を及ぼしていると思うので、その対策を。

倉田指導主事) 学校内でのトラブルのほとんどがLINEということもあり、周知徹底していきたい。

幡野委員) 市民会館利用料金表があるが、どのような団体でも利用料金を払うのか。

中村課長) 減免規定がある。

幡野委員) 会議室が増えたが利用者の予測をして会議室が利用されると(いうことか)

中村課長) 現状利用していた方が分散するということもあると思うが、競合して使用できないということは減るのではないか。実際運用してみないと分からない面もある。

以前あった飲食施設が無くなったので、ケータリングでの対応を考える。

坂本委員) 会議室が増えると、稼働率が悪くなるのでは。

中村課長) 小さな会議室の方が稼働率が高かった。今まで競合して使えなかった人が使えるようになることもある。様子を見させてもらいたい。

坂本委員) 申込は生涯学習課か？

中村課長) 通常、市内の方は9か月前、市外の方は6か月前の申込になるが、初回予約は調整会議を6月1日に市内の方、同2日に市外の方へ向けに行う予定。申込先は生涯学習課になる。広報においても周知する。

坂本委員) 大きな行事はもっと早くから調整会議にて決めても良いと思うが。

中村課長) 条例上予約のできる日が決まってしまう。市の行事は優先させていただいている。

(3) 人事評価制度について

市川教育長) 平成19年度から試行されてきている。地方公務員法の一部が改正され、今年度から適用となった。人事管理の基礎として活用すると法律上明記されたということで、評価結果が昇給や勤勉手当に反映される。絶対評価的な考え方とはいえ、学校間でのバランス等も考えなければならない。評価者については資料のとおり。評価内容は能力評価、業績評価、意欲の評価を5段階評定する。自己観察書を予め作成し、それに基づいて職務を遂行し、授業観察や面談等を行う。自己評価を行った後、それぞれの評価者が評価を行う。きちんと評価するための授業観察や面談等、学校現場はますます忙しくなることが懸念される。

幡野委員) 現実的に影響されるのは

市川教育長) 勤勉手当や昇給に影響する。目に見えて差がついてくる可能性もあり、難しい側面もあると思う。

(4) 平成28年関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会について

小林) 5月27日(金)、八王子駅前のオリンパスホール八王子にて開催される。交通手段については、市の公用車1台にて向かいたい。

幡野委員) 集合時間は事務局で決めてもらえばよいのでは。

(5) 教育委員による学校・公民館訪問

幡野委員) 従前どおりではなく、考え直してもよいか。特に5月・6月は学校側も忙しい時期である。先生方との話し合いも数名とごく短時間である。見直しも必要か。

廣瀬職務代理) 学校教育課として日程的な問題等あるか。

小川課長) 5月下旬から6月上旬にかけては、6月議会のため日程調整は厳しい。

坂本委員) 新たな教育委員がきた場合、各学校の現場を早めに見るのも大切。

廣瀬職務代理) 学校訪問の内容について改善した方が良くと思うのは、現場の先生と話す時間が短いこと。今学校で起きている問題や課題を聞きたい。時期については、5月は学校側でも新任の先生だと分かりにくいこともある。夏休み明けから秋にかけてではどうか。できれば、学校訪問の時期は、教育委員が自由な時期に自由な時間帯で訪問できれば良いと思う。それを踏まえて、じっくり学校側と課題等を聞くのはどうかと思う。

幡野委員) それも良い案かと思う。訪問の行い方も、教育委員や事務局が大人数で教室に入っていく、すぐに出てくるというのは、教師や子どもにどのように思われているの

かと思う。また、形式化していると思う。私も現役教師の時は、熱心な議員と課題についてじっくり話したこともあり、こういうやり方もいいかなと思う。具体的な要望事項は別に出てくるので、ざっくばらんに抱えている課題をじっくり聞ける時間は大切と思う。

市川教育長) 状況を聞く中で、訪問する側も、対応する側もセレモニー的になっていたのかと思う。本当の意味で教育委員が学校の課題をつぶさにみるということであれば、仰々しくではなく、学校側も実際の現場をつぶさに見てもらう方が良いと思う。ただし、学校現場とすれば学校行事もある中で、いつでも、となると大変かと思う。折衷案的には、学校現場と都合の良い日にちをある程度決めるのが現実的かと思う。また、訪問の際は事務局が必ずしもいかななくても良いかとも思う。

倉田指導主事) 学校側からすると、期間や日にちはある程度区切ってもらった方がよいと思う。

市川教育長) 訪問は、教育委員が個々の判断で重点的に見たい学校を見るという形でもいいかと思う。もちろん、いけるのであれば全部見るのはいいことだと思う。新教育委員も含めるなかで検討したい。時期的には、5月・6月というわけにはいかないの、それ以降になる。

木藤委員) 学校の雰囲気をつかんだり、実際に授業をしている先生の話聞くのも大切と思う。

市川教育長) 6校時に設定すれば、授業を見て、その後先生の話聞くこともできるかもしれない。その場合、1日1校しかいけないので委員さんについては、重点的に見たい学校を決めて訪問することも考えられる。

坂本委員) 学校はどのようなものかということをつかんでもらうのには早い時期の方が良いと思う。

市川教育長) 5月の教育委員会で決めるということかどうか。また、現場の先生方にも加わってもらえればありがたいと思う。日程はある程度は絞る必要があると思う。

幡野委員) 新任の教育委員においては学校のことを早く知ってもらう必要もあるので、学校訪問とは別に、学校挨拶まわりとしてもよいのではないか。

中村課長) 地区公民館をみていただいているが、体育施設や根津記念館等を毎年でなくても見ていただき、課題等を知っていただければありがたいと思う。

市川教育長) 図書館等も新しくなることもあり、ぜひそれらの施設も訪問先に加えさせていただきたい。公民館訪問と併せて5月の教育委員会で決めさせていただきたい。

(6) その他

市川教育長) 本日、南中学校1年生8名インフルエンザにより、感染の可能性があるの、1年生のみ5・6校時をカットして帰宅させたいとの連絡があった。

廣瀬職務代理) 不登校の子どもについて、給食費の返金等について

小川課長) 返金はできないが、入院等で期間が分かれば、予め届け出をしてもらえればストップできる。

廣瀬職務代理) 黒戸奈神社の所のバス停について。笛川中のバス停には屋根があり、笛

川小のバス停にはないので一緒のバス停にしてはどうか。

小川課長) 笛川小に統合の際、スクールバスの経路については、各家庭の場所をプロットし、距離と安全を考慮してバス停の位置を決めている。

廣瀬職務代理) 地域のお祭りの日について、学校を半日休校等にはできるか

小川課長) 学校の判断になる

倉田指導主事) 全国学力・学習状況調査が行われている。県の学力把握調査も同時に実施している。

小川課長) 研究指定校等について、英語科の特例校については、今年度で3年間の指定が切れるので、平成29年度から平成31年度までの申請を行いたい。平成32年度から新しい学習指導要領が実施され、5年・6年は英語の授業が実施されるので、山梨市においては1年から4年までを申請したい。

小川課長) 小中学校年間行事予定表について、資料を確認していただきたい。

小川課長) 教育委員会の事務分掌について、資料を確認していただき、何かあれば担当にご相談いただきたい。

小川課長) 次回の日程については、5月23日から午前11時から新しい教育委員の任命式が行われる。任命式後、定例教育委員会を行うことも可能。

市川教育長) 任命式後、そのまま教育委員会を行うことでどうか。

小川課長) 23日は10時50分に教育委員会に集合していただき、任命式後終了後、定例教育委員会を行うということをお願いしたい。

次回 5月23日(月) 任命式終了後

議決事項

その他、会議において必要と認めた事項